

(案)

資料 1 - 3

令和 3 年 8 月 日

千葉市長 神 谷 俊 一 様

千葉市新基本計画審議会
会長 轟 朝幸

千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の検証について（答申）

平成 2 8 年 1 2 月 1 日付 2 8 千政企第 1 0 7 4 号により諮問
のあった標記の件について、次のとおり答申します。

答 申

令和3年8月 日

千葉市新基本計画審議会

千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略（以下、「人口ビジョン・総合戦略」と言います。）は、人口減少の克服と地域の活性化という「地方創生」の取組みを推進するため、平成28年3月に策定し、平成30年12月に改訂されたものです。

「地方創生」の取組みを推進するにあたっては、経済・社会の実態に応じた中長期的な視野のもとに、重要業績評価指標（KPI）の達成度等により施策の効果を検証、改善していくことが重要であることから、市長より諮問を受け、当審議会の地方創生部会において、地方創生に関連する事業や地方創生関連交付金事業等の効果検証を実施してきました。

また、人口ビジョン・総合戦略の見直しについては、平成30年度に、平成27年国勢調査の結果等を踏まえた改訂を行っていますが、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略や、直近の人口や地域経済の動向を踏まえ、令和2年度から、再度の改訂に向けた活発な議論を重ねて参りました。

市の改訂原案のうち「人口ビジョン」では、第一に、市の転入・転出の状況や千葉商圏の状況等について、各種統計データの更新を受け、最新の状況に反映するとともに、分析・考察を行っています。

第二に、社会情勢の変化について、新型コロナウイルス感染症拡大後の本市経済の状況や大規模台風等の発生状況の分析・考察をもとに、感染症への対応や、気候変動による災害リスクへの対応を新たな課題として位置づけています。

次に「総合戦略」では、第一に、基本目標・KPIについて、計画期間の延長に伴い、各指標の見直しを行うとともに、実績を踏まえた適切な目標値の設定がなされています。

第二に、具体的な取組みについて、各施策の見直し・追加を行うとともに、地方創生に関する取組み・事業例が適切に反映されています。

このように、市の改訂原案は、時点更新の意味合いが強いものの、最新のデータに基づく分析・考察を通じて、改めて“ちば”共創都市圏の確立を目指すことの妥当性を確認した上で、社会情勢の変化や市の最新の取組み等を適切に反映しています。

以上を踏まえ、当審議会としてその姿勢を評価するとともに、市の改訂原案

の概要について、その妥当性を認めるものであります。

一方で、SDGs やオリンピック・パラリンピック・レガシーに関する記述、ダイバーシティに関する施策とKPI の連携、千葉商圏の縮小への対応等、様々な論点について意見が出されたところであり、更なる工夫・改善が必要と考えます。

以下に、審議会としての意見を取りまとめましたので、市におかれましては、人口ビジョン・総合戦略の改訂、次期総合計画の策定にあたり十分検討・精査され、より有効な計画としていただくよう、要望いたします。

1 SDGs について

人々が安心して暮らせる持続可能なまちづくりと地域活性化に向け、SDGs に関する記載内容を整理・充実するとともに、SDGs の理念に基づき施策の再構築を検討すること。

2 “ちば” 共創都市圏における拠点性の向上について

市の転入・転出の状況や千葉商圏の縮小等を踏まえ、中長期的な視点から、人を集め、圏域における拠点性を一層高めるための施策を検討すること。

3 ダイバーシティについて

多世代活躍、外国人やLGBT への支援等、ダイバーシティに関する各種施策を適切に評価できるKPI のバランスを整えることで、施策とKPI の適切な連携について検討すること。

4 「時間を返す」市民サービスの実現について

市民サービスの向上や行政の効率化に向けたAI など先端デジタル技術の導入にあたっては、デジタルディバイド（デジタル利用に関する格差）に対応した学習機会の拡充や利用しやすい環境づくりも合わせて検討すること。

5 オリンピック・パラリンピック・レガシーについて

多様性を認め合い、市民一人ひとりが属性にかかわらず自分らしく活躍できる地域社会の構築に向け、共生社会への理解促進や多様な団体との連携など、

ソフト面のオリンピック・パラリンピック・レガシーに関する記載内容の充実を検討すること。

現在、市では次期総合計画の策定に向けた検討に取り組んでおり、令和5年度以降、人口ビジョン・総合戦略は次期総合計画に継承・統合することとなります。

市におかれましては、これまで培ってきた地方創生の理念と取組みをさらに発展させるとともに、新型コロナウイルス感染症など新たな社会情勢の変化に的確に対応しつつ、大都市の拠点性と豊かな自然がもたらす利便性とゆとりに恵まれた都市であるなど、市の特性を最大限に活用して人口減少の克服と地域の活性化に繋げるなど、明確なビジョンと戦略性を備えた次期総合計画の策定に精力的に取り組まれるよう、期待します。